

商品名 エンドキサン錠50mg 医薬品基本情報

薬効	4211 クロルエチルアミン系製剤	一般名	シクロホスファミド水和物錠
英名	Endoxan	剤型	錠
薬価	21.60	規格	50mg 1錠
メーカー	塩野義製薬	毒劇区分	(劇)

エンドキサン錠50mgの効能・効果

(急性白血病、骨腫瘍、細網肉腫、神経芽腫、真性多血症、多発性骨髄腫、乳癌、肺癌、ホジキン病、網膜芽腫、リンパ肉腫、悪性リンパ腫、神経腫瘍)の自覚的並びに他覚的症状の緩解、(悪性黒色腫、胃癌、咽頭癌、横紋筋肉腫、肝癌、結腸癌、睾丸腫瘍、子宮体癌、絨毛癌、膀胱癌、破壊胞状奇胎、胞状奇胎、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、卵巢癌、子宮頸癌、絨毛性疾患)の自覚的並びに他覚的症状の緩解、細胞移植の免疫反応の抑制、全身性ALアミロイドーシス、治療抵抗性強皮症、治療抵抗性結節性多発動脈炎、治療抵抗性顕微鏡的多発血管炎、治療抵抗性混合性結合組織病、治療抵抗性全身性エリテマトーデス、治療抵抗性多発性筋炎、血管炎を伴う治療抵抗性難治性リウマチ性疾患、治療抵抗性皮膚筋炎、治療抵抗性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性高安動脈炎、治療抵抗性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性全身性血管炎、ネフローゼ症候群：副腎皮質ホルモン剤の適切な治療でも十分な効果がない場合

エンドキサン錠50mgの使用制限等

1. ペントスタチン投与中、本剤成分又は含有成分で重篤な過敏症の既往歴、重症感染症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 骨髄抑制、感染症、水痘、腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

エンドキサン錠50mgの副作用等

1. 骨髄抑制、汎血球減少、貧血、白血球減少、血小板減少、出血	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2.	ショック、アナフィラキシー、血圧低下、呼吸困難、喘鳴、蕁麻疹、不快感、出血性膀胱炎、排尿障害、低ナトリウム血症、低浸透圧血症、尿中ナトリウム排泄量増加、高張尿、痙攣、意識障害、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、SIADH、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、肝機能障害、黄疸、急性腎障害、重篤な腎障害、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症	記載場所	重大な副作用
		頻度	頻度不明
3.	イレウス、胃腸出血、間質性肺炎、肺線維症、心筋障害、心不全	記載場所	重大な副作用
		頻度	5%未満
4.	尿浸透圧上昇、蛋白尿、浮腫、悪心、嘔吐、過敏症、発疹、脱毛、皮膚炎、皮膚色素沈着、爪変形、爪変色、倦怠感、低ナトリウム血症	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
5.	肝障害、黄疸、コリンエステラーゼ値低下、食欲不振、味覚異常、口渇、潰瘍性口内炎、胸やけ、おくび、腹部膨満感、腹痛、便秘、下痢、頭痛、眩暈、不眠、肺水腫、心電図異常、心悸亢進、低血圧、副腎皮質機能不全、甲状腺機能亢進、無精子症、卵巣機能不全、無月経、発熱、創傷治癒遅延、高血糖、CK上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
6.	運動失調	記載場所	その他の副作用
		頻度	0.1%未満
7.	骨髄抑制、出血性膀胱炎	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
8.	感染症、感染症増悪、出血傾向、出血傾向増悪、二次性悪性腫瘍、急性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、膀胱腫瘍、腎盂腫瘍、尿管腫瘍、致命的全身障害、胎仔死亡増加、胎仔奇形、催奇形性、胚死亡、胎仔死亡、催奇形作用、好中球減少症、血小板減少症、ヘモグロビン減少	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

エンドキサン錠50mgの相互作用

1.	薬剤名等：ペントスタチン	発現事象	心毒性が発現し死亡	投与条件	-
		理由・原因	-	指示	禁止
2.	薬剤名等：ペントスタチン	発現事象	錯乱、低血圧、肺水腫、呼吸困難、心毒性により死亡、死亡率の増加	投与条件	-
		理由・原因	本剤は用量依存性の心毒性があり、ペントスタチンは心筋細胞に影響を及ぼすATPの代謝を阻害するので、両剤の併用により心毒性が増強	指示	禁止
3.	薬剤名等：抗悪性腫瘍剤				

発現事象	骨髄抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	共に骨髄抑制作用を有する	指示	注意

4. 薬剤名等：アロプリノール

発現事象	骨髄抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	共に骨髄抑制作用を有する	指示	注意

5. 薬剤名等：放射線照射

発現事象	骨髄抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	共に骨髄抑制作用を有する	指示	注意

6. 薬剤名等：フェノバルビタール

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	フェノバルビタールの酵素誘導により本剤の活性型への変換が促進	指示	注意

7. 薬剤名等：副腎皮質ホルモン

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	副腎皮質ホルモン、クロラムフェニコールは肝における本剤の代謝を競合的に阻害し、活性化を抑制	指示	注意

8. 薬剤名等：クロラムフェニコール

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	副腎皮質ホルモン、クロラムフェニコールは肝における本剤の代謝を競合的に阻害し、活性化を抑制	指示	注意

9. 薬剤名等：インスリン

発現事象	血糖降下作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤がインスリン抗体の生成を阻害するため、遊離のインスリン量が多くなり、血糖降下作用が増強	指示	注意

10. 薬剤名等：オキシトシン

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

11. 薬剤名等：バソプレシン

発現事象	作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤がバソプレシンの排泄を増加	指示	注意

12. 薬剤名等：アントラサイクリン系薬剤

発現事象	心筋障害が増強、併用療法終了後に遅発性心毒性	投与条件	-
理由・原因	共に心筋障害を有する	指示	注意

13. 薬剤名等：脱分極性筋弛緩剤

発現事象	作用が増強され遷延性無呼吸	投与条件	-
理由・原因	本剤がコリンエステラーゼによる脱分極性筋弛緩剤の分解を阻害	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.